

令和7年度 町政運営の方針

令和6年7月豪雨災害



町が直面する課題

行財政の硬直化が進行



基本目標

協働でつくる 未来へつなぐ 持続可能なまちづくり

～縮小社会にむけた町行財政改革元年に～

最重要施策

1. 豪雨災害の復旧復興にむけた取組みの強化
2. 災害に強い強靱なる町土づくりの推進
3. 第8次行財政改革プランの確実なる実行



成長戦略

1. 次代を担う人材の育成・確保
2. 若者・女性の定着・回帰の促進に向けた環境づくり
3. 暮らしの様々な分野におけるデジタル化の推進
4. 外国人労働者の増加に伴う「国際化」への対応強化
5. 地域課題の解決に向けた、地域と企業・大学等が連携した新たな取組みの創出促進
6. 重層なる協働のまちづくり体制の構築
7. 脱炭素社会の実現に向けた取り組み



施策展開にむけた取組み手法

1. 職員力、行政力の向上とSDGsの推進
2. 施策目標達成のための横軸連携の強化
3. 「選択と集中」による行政サービスの効率化及びPDCAサイクルによる事業量の最適化
4. 情報の共有と効果的な発信

第5次最上町総合計画の実行

基本目標

協働でつくる 未来へつなぐ 持続可能なまちづくり



まちの将来を
考えながら
前に進もう！

魅力あふれる
まちを目指そう！

かしこ ちち かしこ
賢く縮む 賢くつなぐ

魅力あふれるまちを

未来へつなぐ

加速度を増す人口減少と少子高齢化、さらには過去最大級の被害をもたらした令和6年7月豪雨災害により、町を取り巻く環境は、行財政運営を始めこれまで以上に厳しさを増しております。

この困難を乗り越えるには、町行政の自助努力はもとより、町民の皆様をはじめ、より多くの関係者の皆様が共に力を結集させ、将来の社会の変化を見すえながら次世代に引き継がれる、持続可能なまちづくりが必要不可欠です。

そのためには、人口減少や高齢化といった社会構造の変化や、自然災害、経済変動などの不確実な要素があるなかにおいても、次代を担う人材育成をはじめ、柔軟に対応できる行財政運営と安定した財政基盤の構築をもって、将来にわたって発展できるまちづくりを進めていかなければなりません。

今は確かに大変な時期ですが、厳しい状況にあるからこそ「あの時、みんなで頑張った」という自信と誇りをまちの将来を担う子どもたちに

伝えながら、この難局を乗り越え、新時代にむけた扉を開き、未来への道を共に築いてまいります。

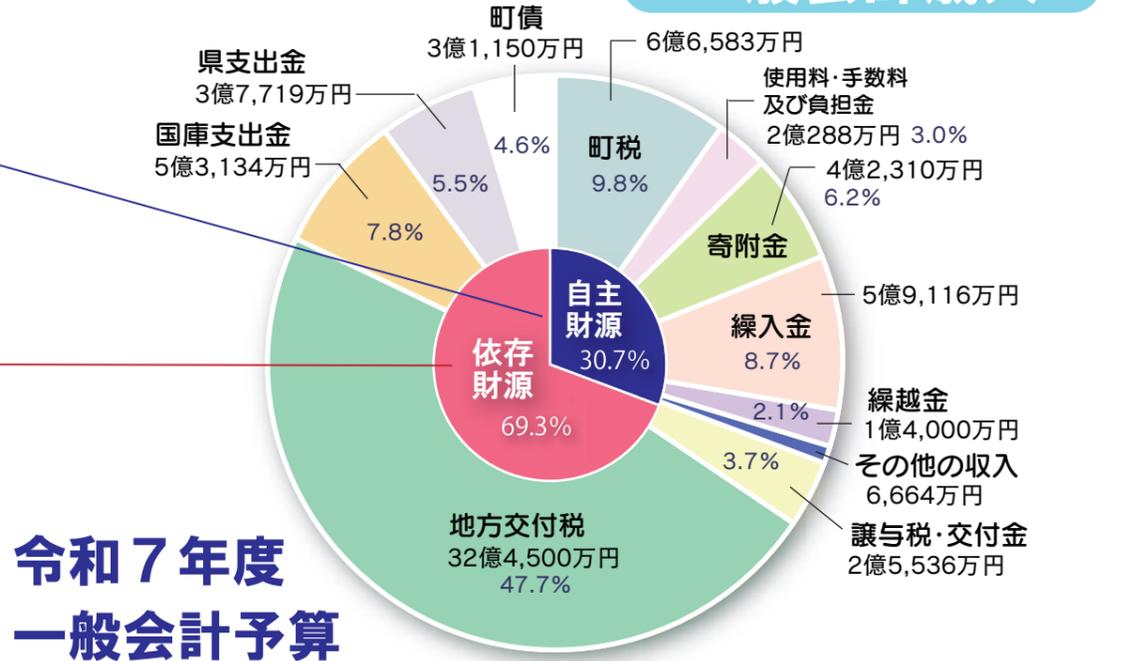
このような考えのもとに、令和7年度における町政運営の基本目標を「協働でつくる 未来へつなぐ 持続可能なまちづくり」としました。

厳しい状況の中にあっても、わがまちが誇る自然や文化、人、産業といった魅力を最大限に活かしながら、町民の皆さんが安心して心豊かに住み続けられるまちを目指してまいります。

新時代のまちづくりのキーワードは『賢く縮む』『賢くつなぐ』です。これは、時代に合わせてより効率的に縮小や削減を行ないながらも、町民の皆様とのコミュニティを大切に、協働のまちづくりを進めていくといった意味が込められています。また、町には多くの魅力があふれています。住民の皆さん一人ひとりが知恵をふり絞り、その魅力を次代へつなげられるように邁進してまいります。

予算の概要

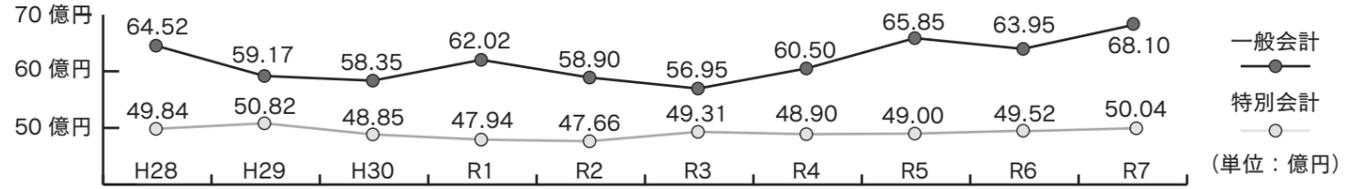
一般会計歳入



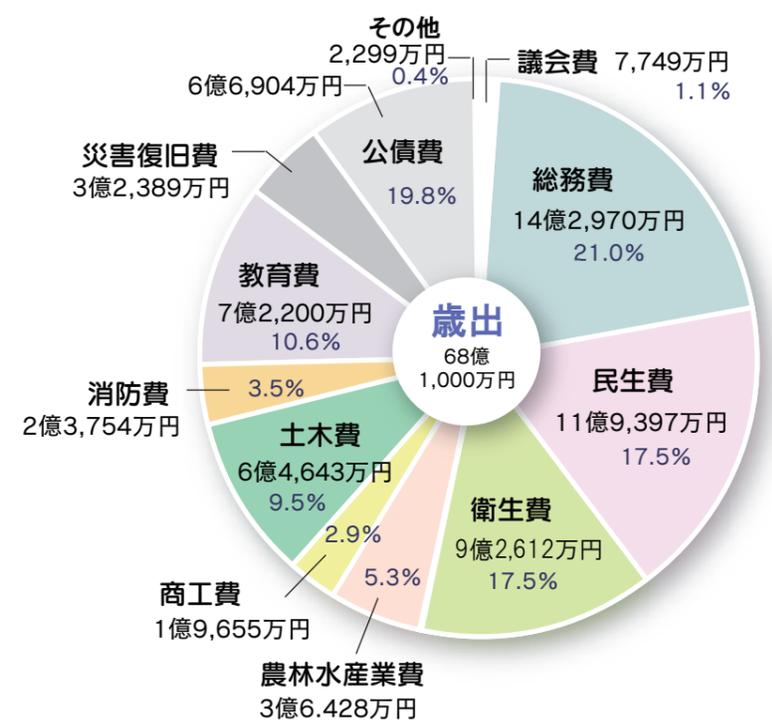
令和7年度 一般会計予算

68億1,000万円 令和6年度 一般会計予算 63億9,500万円

前年度比4億1,500万円増



一般会計歳出



一般会計の概要

令和7年度の一般会計当初予算総額は68億1千万円。前年度の当初予算に比べ、4億1千5百万円の増額となりました。歳入は、主に町税、地方交付税で半分以上を占め、前年度に比べて町税0.1%減、地方交付税8.5%増となりました。「国庫支出金」は、令和6年度の豪雨災害の復旧を行うため、前年度に比べ35.8%増、「町債」については、災害復旧事業を始め、「アラートシステムの更新や、道路の改良に対し、町債の発行を予定しており、発行額について

は、地方債残高を着実に減少させ、将来負担の減少を図るため、また、今後想定される公共施設の改修等に備え、持続可能な運営に寄与できるよう、事業の精査等による発行の抑制を行った結果、前年度に比べ、6.1%減少となりました。「寄附金」では、ふるさと納税寄附金について、令和6年度の寄附状況を踏まえ、4億2千万円を目標としています。

歳出は、「総務費」のふるさと納税寄附事業、地域交通リ・デザイン推進事業、最上町DX推進支援事業により

自主財源 30.7%

町税や使用料など、町が国や県に頼らず自主的に調達できるお金のことです。自主財源が多いと町の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 69.3%

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、町債も依存財源に該当します。

まちの財政指数

※下記の財政指数は見込で算出しています。

項目	令和7年度	令和6年度
実質公債費比率	11.5%	11.8%
公債費負担比率	11.6%	12.1%
経常収支比率	96.5%	96.5%
将来負担比率	28.0%	30.0%

13.7%増、「衛生費」は带状疱疹ワクチンの定期接種化の費用の他、病院事業・介護老人保健施設事業への繰入金も8.7%増加しております。「土木費」は、道路の新設・改良費の減少により19.7%の減、「消防費」は、小型ポンプ付積載車の更新の第一期計画が終了したことによる減額と、最上広域消防分団金の減額により7.8%減、「教育費」は第2期学習者用端末等購入、

特別会計の概要

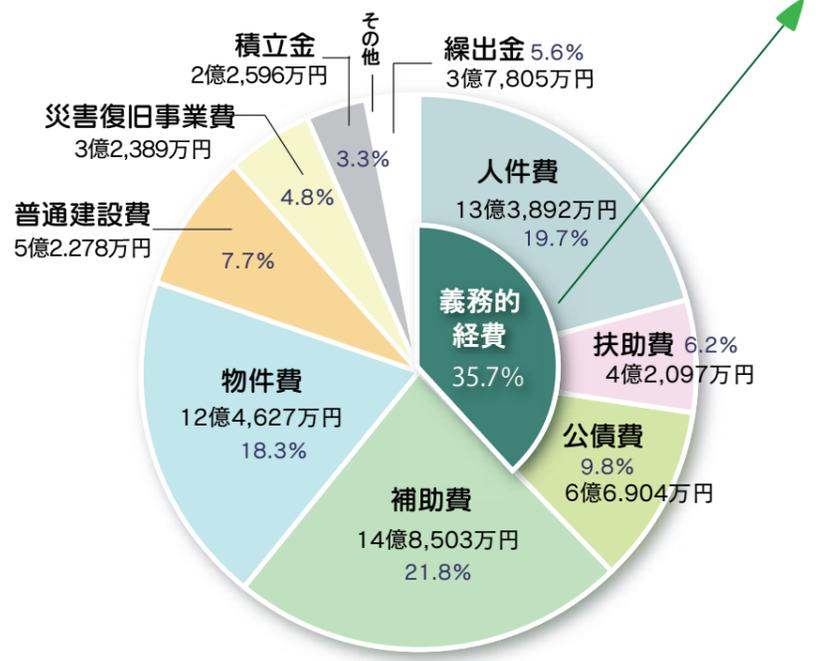
特別会計は予算を使用する用途が限定されており、一般会計の歳入歳出予算と区別している会計です。

令和7年度の特別会計全体の予算は約50億円で、前年度と比べて1.1%増となりました。「国民健康保険事業」は有資格者の減少により、「後期高齢者医療」は広域連合への納付金の増加、「介護保険事業」は、介護予防サービスの給付費の増加により、「最上病院事業」は元金償還・医療機器の更新、「介護老人保健施設事業」は職員の異動により、「水道事業」は単発的な委託料の減少、「瀬見温泉管理事業」は物価高騰に対応するため、「下水道事業」は下水のマンホールポンプ場の電気設備更新のため各事業増減しております。

一般会計の使われ方

義務的経費 35.7%

人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。



会計別予算額 (特別会計を含む)

会計別	令和7年度	令和6年度	増減額
一般会計	68億1,000万円	63億9,500万円	4億1,500万円
特別会計	50億390万円	49億5,170万円	5,220万円
国民健康保険事業	9億3,700万円	9億5,600万円	△1,900万円
後期高齢者医療事業	1億4,100万円	1億2,530万円	1,570万円
介護保険事業	12億500万円	11億9,800万円	700万円
最上病院事業	13億243万円	12億7,333万円	2,910万円
介護老人保健施設事業	3億7,412万円	3億5,745万円	1,667万円
水道事業	4億6,617万円	4億7,637万円	△1,020万円
瀬見温泉管理事業	1,322万円	1,112万円	210万円
下水道事業	5億6,496万円	5億5,412万円	1,084万円
全会計	118億1,390万円	113億4,670万円	4億6,720万円

※端数処理の為、数値が一致しない場合があります。

効果も最小の経費で最大の効果が得られるように、そして町民の皆様にとって、きめ細やかなサービスを提供できるよう財政運営を行います。

未来へつなぐまちづくりにむけた
新年度の主要施策・事業

15選

今年度新規事業
15プラス1

**まちづくり
 出前講座
 懇談会の開催**
 詳細は P.8~9

15 今後の地域医療にむけた
 戦略的な取組み!

**持続可能な病院
 経営改革**
 町立最上病院のサービスと収益の向上、経費節減にむけて「経営戦略会議」を設置し、経営改革に努めます。

14 公共施設の整理・統合に
 むけてスピードアップ!

**公共施設の最適化に
 むけた取組み**
 すでに使われなくなった施設や既存の施設との整理統合化、除却処分を行うために、個別計画の見直しを図ります。

13 県・沿線自治体・関係機関
 との連携強化をもって!

**JR陸羽東線の運行
 再開にむけた運動**
 陸羽東線「鳴子・新庄駅」間の早期運転再開にむけて、国・県・沿線自治体・関係団体と連携し、利用再開に努めます。

4 災害に強いインフラ
 整備の実現にむけて!

**豪雨災害被災現場の
 復旧復興を強化**
 豪雨災害への復旧とともに、災害に強い強靱なまちづくりにむけて、中長期的な事業計画のもとに整備を進めます。

3 人口減少社会に対応した
 健全な行政運営にむけて!

**第8次行財政改革
 の着実なる実行**
 令和7~11年度までの計画期間のなかで、事務事業の見直し、業務の改善を図り、財政運営の健全化に努めます。

2 足の確保による
 安心なまちづくりにむけて!

**縮小社会に適応した
 地域交通体系の整備**
 デマンドバスの運行体制の見直しや「公共ライドシェア」等の新たな交通システムの再構築を図ります。

1 持続可能な
 消防体制の確保にむけて!

消防団組織の再編成
 地域との連携のもとに、分団や部、班体制の整理統合を図るとともに、団員の確保に努めます。

8 これからのまちづくり
 を共に考える!

**地域コミュニティと
 行政区のあり方を検討**
 町民検討会議等を設置し、今後のまちづくりに適応するために、行政区や地域コミュニティのあり方について検討します。

7 よりよい教育環境の
 あり方を共に考える!

**小学校・保育施設の
 再編にむけた検討**
 よりよい教育環境の整備にむけて、小学校や保育施設の整理統合を見据えた検討会議を設置し検討します。

6 縮小社会を見すえた
 まちづくりをデザイン!

**立地適正化計画
 の策定**
 人口減少社会に備え、居住や交通システム等の生活機能の誘導によりコンパクトシティに向けた計画を策定します。

5 こどもの健やかな
 成長を一体的にサポート!

**こども家庭センタ
 ーの開設**
 子育て家庭への切れ目のない支援を一層充実させ確実に実施されるよう、関係機関と連携した支援体制を整備します。

12 持続可能な
 就労環境の充実にむけて!

**人材育成と雇用環境
 の整備促進**
 事業所での人材育成と雇用環境の整備にむけて、資格取得や多様な労働力の確保に関する環境づくりを支援します。

11 より便利で快適な
 未来を切り拓くために!

**デジタル社会にむけ
 たビジョンの作成**
 人口減少社会が抱える課題解決と、行政事務の効率化にむけて、「最上町DX推進本部」「DX推進チーム」を設置します。

10 人を呼び込む、
 お金を稼ぐ手法を追及!

**魅力ある観光地・
 商店街づくりの推進**
 中心市街地・商店街のにぎわいづくり、活性化にむけて、関係団体との協働のもとに、望ましい手法を検討・実践します。

9 脱炭素社会の
 実現にむけて!

**ゼロカーボンシテ
 イの推進**
 「最上町地球温暖化対策実行計画」をもとに、できることから、脱炭素社会に向けた行動を行っていきます。

新規事業・大規模事業等の概要

事業名	事業の内容	予算額
地域交通り・デザイン推進事業	移動手段課題の解決を図るため体系を再整備	2,725千円
最上町DX推進支援事業	DXの目指すべき方向を示すビジョンの策定	5,400千円
带状疱疹予防接種事業	带状疱疹ワクチンの定期接種	4,176千円
赤倉温泉スキー場施設キャッシュレス決済機器購入事業	利便性向上を目的に、事前決済できる券売機を購入	3,000千円
児童遊具購入事業	企業版ふるさと納税を活用して遊具を整備	1,500千円
自治体行政情報システム標準化対応事業	各自治体ごとの情報システムの差異を標準化	43,020千円
Jアラートシステム等更新事業	Jアラートシステムの更新	20,500千円
第2期学習者用端末購入事業	児童生徒全員の学習用端末(タブレット)を更新	55,518千円
農林水産業施設災害復旧事業	昨年7月豪雨災害で被災した箇所や施設の復旧	204,857千円
道路新設改良事業	災害発生の予防及び拡大防止を図るための道路工事	89,500千円
向町小学校非常階段修繕事業	老朽化した非常階段を修繕	12,518千円
公共土木施設災害復旧事業	昨年7月豪雨災害で被害のあった道路や河川の復旧	119,030千円
かわまちづくり広場整備事業	満沢橋周辺の河川敷の整備	39,500千円
最上中学校給水設備改良事業	老朽化した給水設備の改修	17,600千円

まちづくりを考える 23 講座のメニュー

以下のメニュー以外でも希望に応じて対応いたします

番号	分野	講座名(メニュー)	内容	担当課
1	町政・まちづくり	最上町の財政のはなし	予算(決算)、財政状況の概要と今後の見通しについてお話しします。	総務企画課
2	安全・安心	防災最前線	防災マップを使って風水害リスクを知り、避難への課題に気づき、どのように行動するかについて考えましょう。	総務企画課
3	教育・生涯学習	食育と学校給食	食育の視点から、学校給食のあり方、食の安全安心確保の取り組み、地産地消を取り入れたメニューなどについてお話しします。	教育文化課
4	生涯スポーツ	長く続けられるウォーキングランニング講座	体に負担の掛かりにくいウォーキング方法や、健康づくりで走るランニング方法を紹介します。	教育文化課
5	健康・福祉	健康のはなし	メタボリックシンドローム対策や、生活習慣病予防、また、「第3次ウエルネスタウン最上21計画」と健康づくりのポイントをわかりやすく説明します。	健康福祉課
6	健康・福祉	心もからだも元気になる食事のはなし	食事は、一生の間に8万6千回食べるものです。健康づくりの基本となるものです。食育・生活習慣病予防・高齢者の食事などの世代にあわせお話しします。	健康福祉課
7	健康・福祉	医療保険、介護保険のはなし	国民健康保険又は後期高齢者医療保険の仕組みや、介護保険制度、介護サービス、介護予防などについてわかりやすくお話しします。	健康福祉課
8	健康・福祉	最上病院経営強化プラン	最上病院の現状や今後の役割などを説明します。	最上病院
9	子育て	大人も楽しめる子どもの遊び	お孫さんと遊ぶ時などに使える絵本やわらべうた、昔遊びを紹介します。	こども支援課
10	子育て	子育て支援のはなし	町の子育て支援の取り組みについてお話しします。	こども支援課
11	生活と暮らし	デマンドバスを活用しよう	デマンドバスの利用方法等についてお話しします。	総務企画課
12	生活と暮らし	よくわかる！戸籍と住民票のはなし	戸籍制度と住民票について解説し、「届出の種類」と「手続き方法」、「住民基本台帳制度」などについてお話しします。	町民税務課
13	生活と暮らし	国民年金のはなし	国民年金のしくみについて解説し、「加入者の種類」、「保険料と免除制度」、「受給のしくみ」についてお話しします。	町民税務課
14	生活と暮らし	誰でもわかる！スマホ講座	スマホの基本的な使い方をわかりやすくお話しします。	総務企画課
15	生活と暮らし	マイナンバーカードの作り方と便利な使い方	マイナンバーカードの作り方から、便利な使い方までやさしく解説します。希望があればその場でマイナンバーカードの申し込みもできます。	町民税務課
16	生活と暮らし	ごみの分別と減量化	ごみ排出量の現状と減量に向けての取り組みや分別の方法について、皆さんでいっしょに考え学びます。	町民税務課
17	生活と暮らし	知っておきたい税金の話	「所得税の確定申告」、「町・県民税の申告」、「土地の評価」や「家屋の増改築に伴う評価方法」と「固定資産税の算出方法」などについてお話しします。	町民税務課
18	産業・都市基盤	農林業の振興	農林業に関する制度や補助事業等についてお話しします。	農林振興課
19	産業・都市基盤	有害鳥獣対策の現状	有害鳥獣の被害の現状や対策の取り組みについて説明します。	農林振興課
20	産業・都市基盤	道路整備の現状	町道の現状について説明します。	建設水道課
21	産業・都市基盤	住宅に関する各種補助金制度	町が行っている住宅に関する各種補助金制度について、補助金の額やお手続き等、くわしくお話しします。	建設水道課
22	その他	選挙のしくみ・模擬投票	選挙の仕組みを詳しくお話しします。	選挙管理委員会
23	その他	議会の仕組み	議会の仕組みを詳しくお話しします。	議会事務局

まちづくり出前講座 懇談会承ります！



出向く役場をモットーに!!

皆さんのところに無料で出張いたします！

まちづくり出前講座・懇談会は、町民の皆さんと共にさらに魅力的なまちにするために、町政に対する理解を深め合ったり、協働のまちづくりをどう進めていくのかを話し合う場です。これからの最上町について、一緒に考え、知恵を出し合い共に作り上げていきましょう！

1 まちづくり出前講座

町政に関する情報提供、各分野の施策や町の取り組みなどを学ぶ学習会で、メニューは左記の中から選択できます。

2 まちづくり懇談会

1. のメニュー以外で、まちづくり等に関するテーマや地域の具体的な課題等についての意見交換会をします。



申込対象者

集落、地区のコミュニティ組織、各種団体やサークル、サロン等、5名以上の町民で組織されたグループなどなたでもお申し込みが可能です。

利用までの流れ

※令和7年度の12月28日～1月4日までの期間は、役場が閉庁日のため開催の対象日から除外となりますのでご注意ください。

①相談 申込者様はご希望の講座又は懇談会の内容と開催希望日時をまちづくり推進室にご連絡ください。
総務企画課まちづくり推進室 43-2261

②担当課を決定 申込者様のご希望いただいた講座内容により担当課を決定。

③日程調整 担当課と申込者様との間で日程調整を行う。

④申し込み 申込者様は、まちづくり推進室に「出前講座・懇談会利用申込書」を提出。

⑤通知書の送付 申込書受理後、開催日時と開催内容が記載された「利用通知書」送付。

⑥講座・懇談会開催 講座・懇談会が開催される。

⑦利用報告書を提出 開催後は「利用報告書」をまちづくり推進室に提出。その内容は役場で、今後の出前講座・懇談会に活かしていきます。

